

茨木市議会議員(無所属)



あびこ浩子

ゆめ・みらい通信

連絡先：(自宅) 茨木市穂積台1 2-503穂積台グランドコーポ

Facebook：あびこ浩子 | WEBサイト：<http://www.hiroko-abiko.jp>



エコキャップ運
動実施中
JR茨木東口エス
カレーター下



九州地方の豪雨で被害が広がっています。

みなさま、いつもお世話になっております。あびこ浩子です。

7月に入り 本格的な雨が続いています。最近の雨は、シトシトと降り続く雨ではなく、一気にたくさんの雨が長時間降り続く様相になっています。「ゲリラ豪雨」といわれる降り方で都市の排水機能を超える雨が降り、道路が冠水したり、地下街が浸水、住宅地でも床下床上浸水したりするような雨が降るようになってきました。ゲリラ豪雨に対応するために排水管の直径を広げる取り換え工事をしたり、地震に備えて耐震性能のある排水管に取り換える作業が続いてきました。しかし今回のような一時に多量の雨が同じ場所に降り続く状況はこれまでにないものです。積乱雲が帯状に連なる「線状降水帯」が福岡県浅倉氏付近で6時間に次々に4つ発生したとの報道がありました。狭い範囲に雨雲が集中して長時間大雨がふる現象です。世界に目を向けるとヨーロッパや中東では5～6月に記録的な高温となり、スペイン・ポルトガルでは40度を超え、パキスタンでは54度を記録したとの世界気象機関(WMO)の報告もあります。想像がつかない高温です。私たち人間は自然の力には抗えません。どんな備えができるのか?何をしていけばよいのか?私たちが安全に暮らしていけるように出来ることを一つずつ取り組んで行くしかありません。

身近な場所で、道路の溝にごみが貯まっていますか?土で埋もれていますか?こまめに掃除をしておけば、いざという時に、少しでも冠水被害を小さくできるかもしれません。自分一人が取り組んでも何も変わらないと思うかも知れませんが、小さな取組も、多くの方々の協力があれば、大きな力になっていくかもしれません。

災害時に命を守るために、現場では「決して諦めないこと」そして「できることは何かを考えながら支え合うこと」ではないかと、報道を聞きながら考えています。どうか無事でと祈っています。

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業/1980大阪府立千里高校卒業/1984関西大学文学部卒業/2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了/大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭/1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職/2000沢池幼稚園PTA会長/2002穂積小PTA会長/2006茨木市PTA協議会会長/2004NPO法人Chacha-House代表理事/2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長/2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事/2011穂積地区自主防災会会長/2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選/2009・1選挙2期目当選/2013・1選挙3期目当選/2017・1選挙4期目当選
- ◆夫、長女、長男、次女夫婦と孫娘

あびこ浩子連絡先

電話・FAX 072(624)5480 (留守時はメッセージを残してください)

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP : <http://www.hiroko-abiko.jp>

FACEBOOKページ

「あびこ浩子(茨木市議会議員)」

「あびこ浩子 茨木ゆめ・みらい工房」

Twitter @abiko_h (あびこ浩子(茨木市議会議員))



お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



市民会館跡地活用検討(中間報告) 5 コンセプト及び機能を踏まえた敷地設定の検討

<デメリット>

敷地に農林水産省等の土地を含むため、施設建設にあたり購入が必要です。(約9億5千万円)・都市公園であるため、建築規模に制限があります。

現南側グラウンドが利用できなくなるので、スポーツ活動の場が減少します。・市役所駐車場、業務スーパー利用者との車両輻輳による交通混雑を誘発する可能性があります。

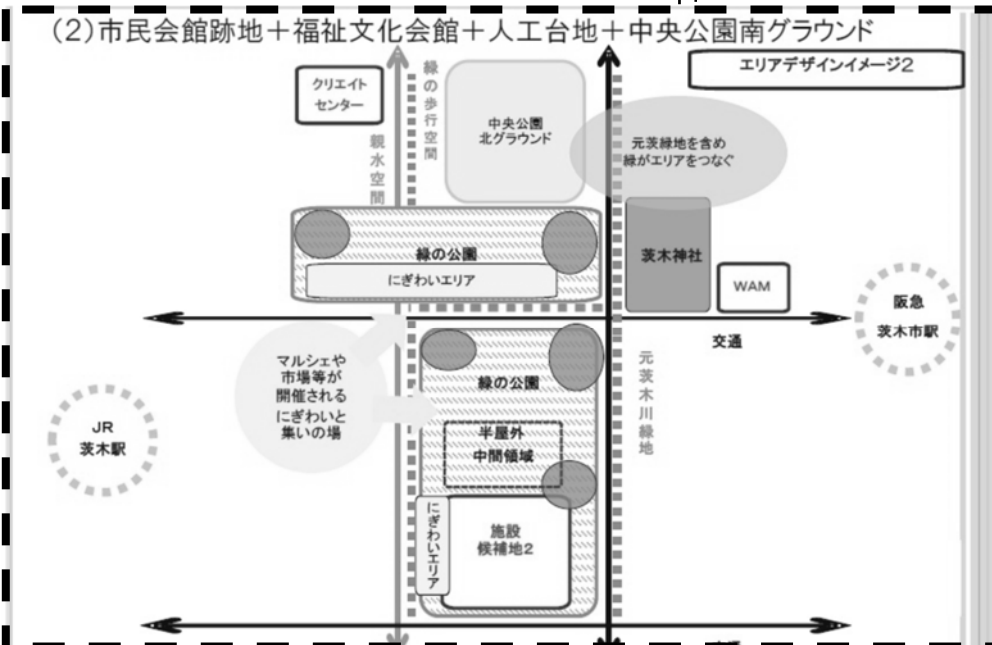
キーコンセプトである「育てる広場」とそこから想定される機能イメージを踏まえ、2案が出されています。



A案 【市民会館跡地+福祉文化会館+人口台地】

B案 【市民会館跡地+福祉文化会館+人口台地+中央公園南グラウンド】

B案について



<メリット>比較的整形地であり、施設配置に若干余裕があります。・福祉文化会館の代替施設確保が不要となります。・旧市民会館、福祉文化会館敷地を都市公園化し、沿道ににぎわい施設を設置するなど、ゆったりとした空間形成と、阪急、JRからの動線を含めた広がりのある総合的なまちづくりを検討できます。・自転車道、広幅員の歩道に近接するなど、両駅からのアクセスがよく、また、歩行者動線の分散化も図れます。

毎週火曜日・木曜日の朝、JR茨木駅西口下、水曜日の朝、南茨木駅、金曜日の朝、阪急茨木駅東口南側にてご挨拶と週刊通信を配布させていただいています。お急ぎとは思いますが、お時間許せば手に取っていただけましたら幸いです。お声をかけていただけたらとても嬉しいです！

